



日建連表彰2024



第65回BCS賞

高槻城公園芸術文化劇場

選定理由

【選考委員】
稲山正弘・村松弘治・大西正修

一般的に、地方都市におけるホール計画はその運営の難しさに直面する。高槻城公園芸術文化劇場は、この課題に対して、事業企画や設計初期段階から劇場運営の視点を取り入れ、市民ファーストの施設づくりを行ってきた。その結果、ハードとソフトが連携し、一体となった地域に開かれたホール建築を実現している。

この劇場は元もとグラウンドであった土地を利用し、隣接する歴史公園と緩やかにつながる丘のようなランドデザインと施設計画によって、穏やかで新たな地域景観をつくり出している。加えて、大ホールを中心に、小ホールや大小のスタジオをコンパクトに配置し、内外部のつながりを意識したデザイン手法により豊かな空間を生み出している。

逆リブプレキャストコンクリートと極細鉄骨を用いたエントランスロビーや柱のないホワイエは、その設計思想とともに施工精度を含めて極めて秀逸であり、市民に開かれたホールのイメージを具現に表現している。

この建築の特徴は、素材の美しさにこだわったことと、その品質の高さにある。特に大阪府産の三五〇立方の木材の白木・赤木・芯材材を無駄なく、内外に機能的に活用しているところには目を奪われる。

とりわけ芯材材二七、〇〇〇個の木キューブに包まれた森のような大ホールは、極めて魅力的な空間デザインであり、これまでにない祝祭性を味わうことができる。同時に効果的な音の反射や吸音空間を実現するために、木キューブの配置を音響シミュレーションとモックアップ試験により粘り強く検証することで、「見やすい・聴きやすい・使いやすい」

「ホールを実現している。

ハーフPCの外壁と呼応するように、低層部外壁には木材が配されているが、耐久性や耐水性、そして将来の更新にも十分に配慮しており、設計と施工における深い思考と高い技術が光る。そのほか、PCを含むコンクリートとガラスとの組み合わせ、そしてそれをまとめたミニマルなディテールは緊張感があり、とても素晴らしい。加えて、電気やガスを併用して負荷変動対応などの省エネルギー化も図っており、環境にやさしい建築づくりをも実践している。

更に、施工面での木材の調達準備

やBIMによる施工管理、プレキャストコンクリート板の活用、床コンクリート研磨仕上げなど、細やかな施工計画及び管理技術が、メンテナンス性も含め

て総合的に優れた建築をつくり出している。

事業の初期段階からワークショップ手法を用いた維持管理運営と一体化した建築づくりは、設計者・施工者の知見と経験が詰まったノウハウとシンクロし、高いホール稼働率を実現し、地方ホールに見られる運営課題を解決することで、市民に愛されるホールを見事に作り上げている。

公園と一体になり、地域の歴史と自然を尊重しながら、未来の文化発信の場として、高槻ならではの豊かな木を纏った「芸術の杜」を創り出した極めて優れた建築である。

- 1. 東側外観
- 2. エントランス内観
- 3. 大ホールホワイエ
- 4. 小ホール

高槻城公園芸術文化劇場 概要

- 所在地 大阪府高槻市野見町6-8
- 建築主 高槻市
- 設計者 ㈱日建設計
- 施工者 ㈱大林組
- 竣工日 2022年8月31日

- 敷地面積 19,075㎡
- 建築面積 5,438㎡
- 延床面積 17,273㎡

- 階数 地上3階、地下2階、塔屋3階
- 構造 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスして
ご覧ください。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターセンター／京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館 みるる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまーる」／読売テレビ新社屋

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。